

# デジ田交付金TYPESについて

## デジタル実装タイプ<sup>o</sup>1/2/3等：制度概要



目的	デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取組を応援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を交付金により支援													
概要	<p>デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、以下の事業の立ち上げに必要な経費を単年度に限り支援</p> <p>【TYPE1】他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組</p> <p>【TYPE2】オープンなデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う、モデルケースとなり得る取組</p> <p>【TYPE3】(TYPE2の要件を満たす) デジタル社会変革による地域の暮らしの維持につながり、かつ総合評価が優れている取組</p> <p>【TYPES】「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、将来的に国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある地方公共団体の先導的な取組</p>													
共通要件	<p>①デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む</p> <p>②コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係者と連携し、事業を実効的・継続的に推進するための体制を確立</p>													
詳細	<p>&lt;TYPE別の内容&gt;</p> <table border="1" data-bbox="326 765 1658 1308"> <tr> <td data-bbox="333 772 721 929"> <p><b>デジタル行財政改革 先行挑戦型 【TYPE S】</b></p> </td> <td data-bbox="721 772 1358 929"> <p>「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある先導的な取組</p> </td> <td data-bbox="1358 772 1651 929"> <p><b>事業費：5億円</b> 補助率：3/4 + 伴走型支援</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="333 929 721 1079"> <p><b>デジタル社会変革型 【TYPE 3】</b></p> </td> <td data-bbox="721 929 1358 1079"> <p>下記いずれかを満たし、総合評価が優れているもの ・新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓 ・AIを高度活用した準公共サービスの創出</p> </td> <td data-bbox="1358 929 1651 1079"> <p><b>国費：4億円</b> 補助率：2/3</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="333 1079 721 1200"> <p><b>データ連携基盤活用型 【TYPE 2】</b></p> </td> <td data-bbox="721 1079 1358 1200"> <p>データ連携基盤を活用した、複数のサービスの実装を伴う取組</p> </td> <td data-bbox="1358 1079 1651 1200"> <p><b>国費：2億円</b> 補助率：1/2</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="333 1200 721 1308"> <p><b>優良モデル導入支援型 【TYPE 1】</b></p> </td> <td data-bbox="721 1200 1358 1308"> <p>優良モデル・サービスを活用した実装の取組</p> </td> <td data-bbox="1358 1200 1651 1308"> <p><b>国費：1億円</b> 補助率：1/2</p> </td> </tr> </table> <p>(注) 上記のほか、計画策定支援事業において、デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援し、地方創生テレワーク型において、サテライトオフィスの整備・利用促進等を支援。</p>		<p><b>デジタル行財政改革 先行挑戦型 【TYPE S】</b></p>	<p>「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある先導的な取組</p>	<p><b>事業費：5億円</b> 補助率：3/4 + 伴走型支援</p>	<p><b>デジタル社会変革型 【TYPE 3】</b></p>	<p>下記いずれかを満たし、総合評価が優れているもの ・新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓 ・AIを高度活用した準公共サービスの創出</p>	<p><b>国費：4億円</b> 補助率：2/3</p>	<p><b>データ連携基盤活用型 【TYPE 2】</b></p>	<p>データ連携基盤を活用した、複数のサービスの実装を伴う取組</p>	<p><b>国費：2億円</b> 補助率：1/2</p>	<p><b>優良モデル導入支援型 【TYPE 1】</b></p>	<p>優良モデル・サービスを活用した実装の取組</p>	<p><b>国費：1億円</b> 補助率：1/2</p>
<p><b>デジタル行財政改革 先行挑戦型 【TYPE S】</b></p>	<p>「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある先導的な取組</p>	<p><b>事業費：5億円</b> 補助率：3/4 + 伴走型支援</p>												
<p><b>デジタル社会変革型 【TYPE 3】</b></p>	<p>下記いずれかを満たし、総合評価が優れているもの ・新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓 ・AIを高度活用した準公共サービスの創出</p>	<p><b>国費：4億円</b> 補助率：2/3</p>												
<p><b>データ連携基盤活用型 【TYPE 2】</b></p>	<p>データ連携基盤を活用した、複数のサービスの実装を伴う取組</p>	<p><b>国費：2億円</b> 補助率：1/2</p>												
<p><b>優良モデル導入支援型 【TYPE 1】</b></p>	<p>優良モデル・サービスを活用した実装の取組</p>	<p><b>国費：1億円</b> 補助率：1/2</p>												

※R6.5.21に千葉県、千葉市、市川市、船橋市、木更津市、柏市、市原市、浦安市、香取市で共同申請したものが採択

### ■TYPES事業

- 県では、福祉相談分野のデジタル化として、
- ①関係者が情報共有できるシステムのプロトタイプの構築
  - ②音声マイニングシステムの共同調達事業
  - ③AIチャット導入事業を実施

※市では①及び②について実施 市の予算措置は②のみ

# 参考 TYPES事業要件[※国募集要項から抜粋]

## 2. 相談記録プラットフォームのプロトタイプの開発

- 相談支援員が住民に寄り添い、きめ細やかな相談・支援を行える体制を構築するため、こども家庭、高齢、障がい、生活困窮等の福祉分野における相談支援業務や重層的支援体制整備等に共通的に活用（過去の相談記録の容易検索等）でき、多様な関係者間の情報共有を行うことができるクラウド上のシステム（以下、「相談記録プラットフォーム」という。）のプロトタイプ（以下、「プロトタイプ」という。）の開発を行うこと。
  - ↳プロトタイプ：試作品（フォーマットも含めて整理をしながら、実際に試作品を作り、ユーザーが操作し、その使い勝手がわかるようにするもので、ユーザーの意見を反映させたもの）
- 現場の相談支援員の業務プロセスに沿ったものとするため、都道府県と市町村や関係機関が協働して、現場の相談支援員を含めた多様な関係者で構成する検討会を開催し、プロトタイプを作成すること。
- プロトタイプは、次の点を配慮したものとし、利用する相談支援員のフィードバックを得ながら、アジャイルで作成すること。
  - (1) 1のソリューションと連携することを前提として作成すること。
  - (2) 機微性の高い個人情報を取り扱うことから、適切なアクセスコントロールができるものであること。
  - (3) 他のシステムと併用すること等により、相談支援員が二重入力をする負荷を抑えたものとする。
- 今後の全国展開を行うため、当該プロトタイプは、申請団体のみが利用できるものとはせず、本事業に参加していない地方自治体及び国の利用が可能となるよう配慮すること。

# プロトタイプ事業について①

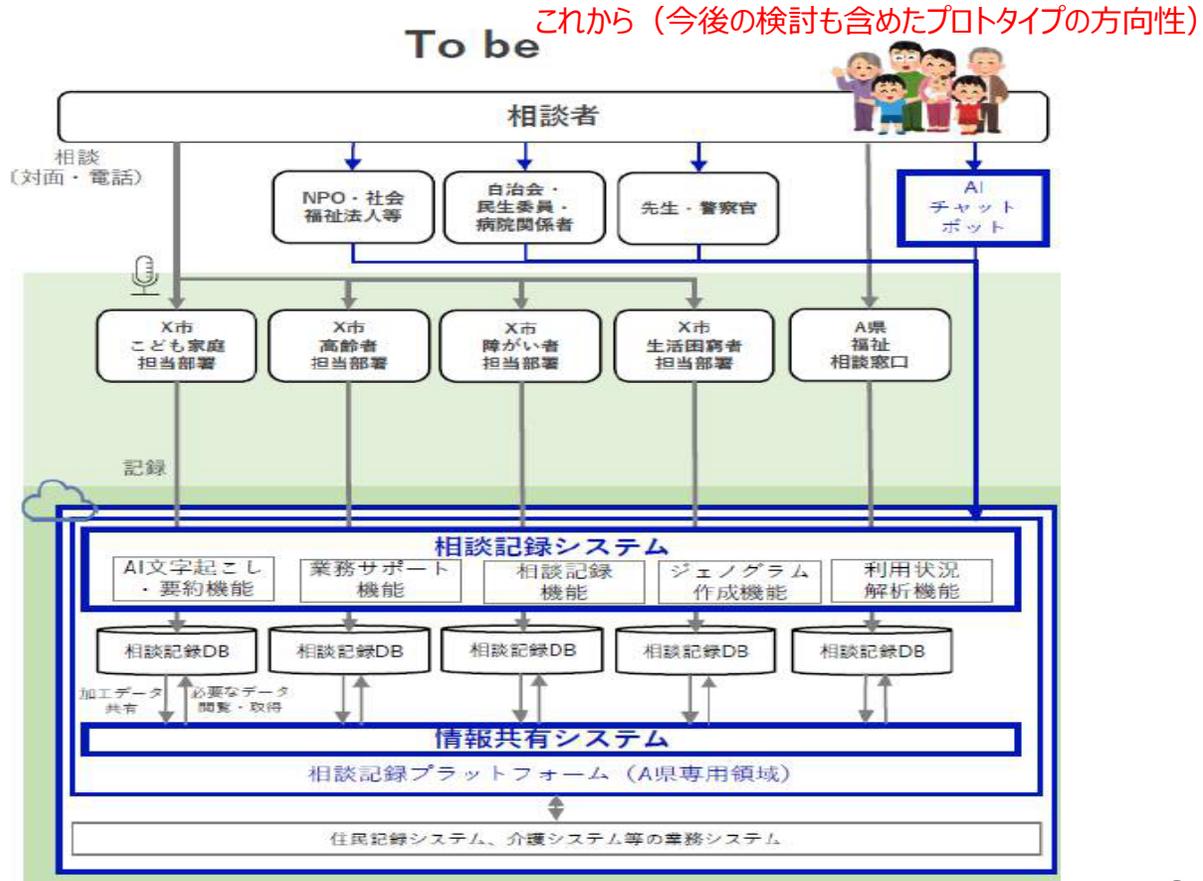
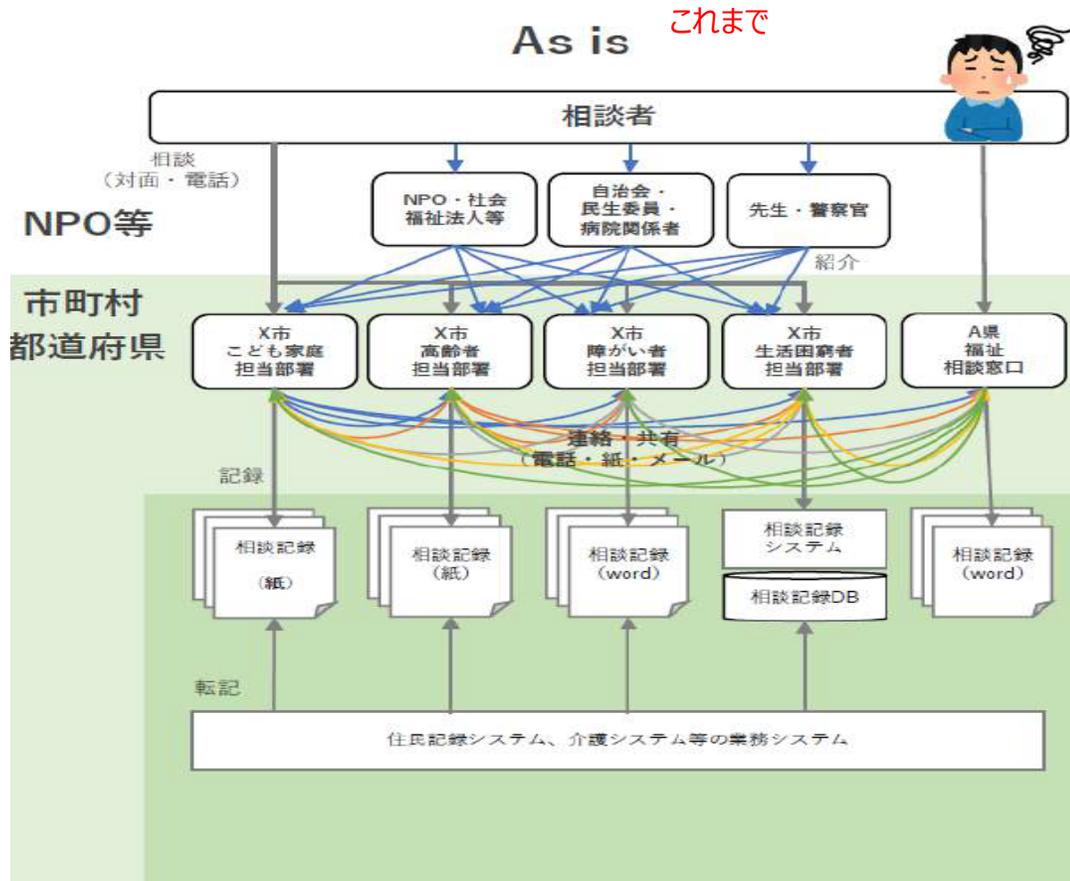
【参考】国において「国・地方デジタル共通基盤の整備運用に関する基本方針」(本年6月21日閣議決定)に基づき、本県が提案した「重層的支援体制整備事業に係るデジタル化検討事業」(※本プロトタイプ事業)が、10/29に開催された「国・地方デジタル共通基盤推進連絡協議会」で「共通SaaS」として今後、共通化すべきシステムの候補の1つとされた。

TYPES事業における

## 想定アーキテクチャ

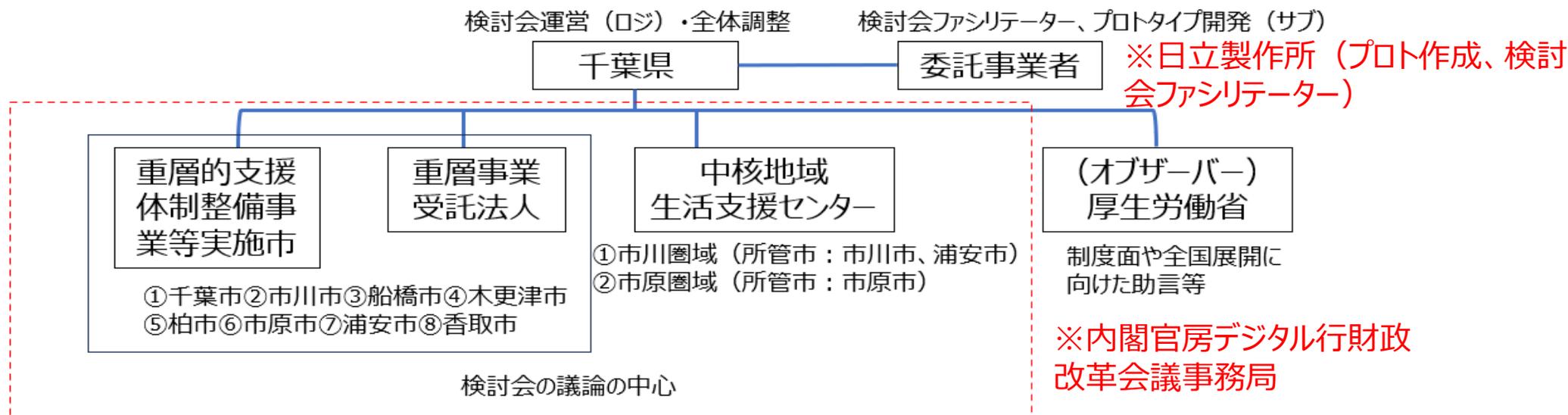
デジタル行財政改革会議

- サービスデザインワークショップの実施や関係者からのヒアリングをもとに、想定アーキテクチャを事務局において作成。
- TYPES採択団体が、アーキテクチャを精緻化しながら、相談記録プラットフォームのプロトタイプを作成。



# プロトタイプ事業について②

## ■ 検討会の体制図



## ■ 検討会の運営スケジュール



# プロトタイプ<sup>①</sup>の主な機能について



- プロトタイプ<sup>①</sup>の基礎的なコンセプトは、「多様な関係者間の情報共有」や「相談記録等の作成」を行うことができるクラウド上のシステム【基本機能】
- これまでのデジタル検討会での協議で、業務フロー全体としての効果的なデジタル化を進めるためには「会議運営」「統計処理」「相談対応」を効率・円滑化できる機能の追加が必要との意見が得られた。【+ α 機能】

現時点のプロトタイプ機能（現場のニーズに基づいたもの） ※メインユーザーは重層事業の多機関協働事業者及び関係機関を対象

## ■基本機能案

- ①世帯情報などを記載した共通フォーマットによる記録作成
- ② ①の情報に基づく関係機関への情報共有
- ③エコマップ、ジェノグラムの生成機能等

※本日のプロトタイプデモの主な範囲

## ■+ α 機能案（検討会で出されたニーズ）

- ①過去事例検索機能【相談対応の円滑化】
- ②統計機能【統計処理の効率化】
- ③社会資源の検索、共有【相談対応の円滑化】
- ④アセスメント進捗管理【相談対応の円滑化】
- ⑤チャット機能【会議運営等の効率化】
- ⑥スケジュール調整【会議運営等の効率化】 等

基本機能+ α 機能の搭載により、①業務フロー全体の効率・円滑化、②支援機関内もしくは関係機関との調整・共有が必要なあらゆる場面で、必要に応じて、適宜情報共有を行うことのできるシステムを実現

※支援会議以外の部分は現行制度上、本人同意を取った上で共有を行う